

読んで候 第六集

目次

江戸期の村 ―文化元年小杉村人別帳―	新田二郎	2
「令生院 釋智雄師」について ―『慈眼日誌』より―	磯原敬雄	7
東林雪象師の碑名を読む	大浦美子	11
江戸時代の高岡町民の生活と現代	太田幸子	14
長江村の古文書を探る ―百姓頭振人別相改書上帳―	大野孫一郎	16
古典にみる「長寿への道」	尾形常次郎	17
鋳物師の免許状	加須屋きい	19
異体字のことなど	黒川總三	22
「あわらの稲荷神社と舞句」	米谷清一	23
一通の書簡	佐藤節子	27
『高岡湯話』の頃	里村玲子	28
老人の想い出話より	佐野重信	30
木町古文書について	橋場吉盛	33
佐加野・細池大字の研究	馬藤良成	35
「二年目の古文書」	平田大哲	36
『高岡湯話』を読んで	松田俊夫	37
古文書を学んで二年	室谷とき子	38
何が是か、何が非か ―孝子五代連綿紺屋二郎七之略系―	柳沢京子	39
古文書研究発表に代えて	吉田敬五郎	40
高岡市の古文書	太田久夫	41
孝子六兵衛の母おろくにおもう	晒谷和子	43
古文書を学ぶ会の歩み		45
『読んで候』目次 第一集〜第五集		47
会員名簿		49
あとがき		51